

達成度：R5.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

企画財政課の目標（令和 4 年度）自己評価書

企画財政課長 川口 博之

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 総合計画の進行管理（企画・地方創生推進室）</p> <p>第 6 次酒々井町総合計画で掲げた目標の実現を図るため、前期基本計画に基づき各施策の効果的な推進に努めます。</p>	4	<p>第 6 次酒々井町総合計画前期基本計画で掲げた目標の達成に向けて、実施計画を策定し、各施策・事業等の効果的な推進に努めました。</p>
<p>2 まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進（企画・地方創生推進室）</p> <p>町の実情を踏まえ、人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組むため、町総合計画のアクションプランでもある酒々井町まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策・事業の進捗状況等を検証し、地方創生の推進に積極的に取り組みます。</p>	4	<p>酒々井町まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けている各施策の達成に向けて、第 1 期総合戦略の各事業等の進捗状況の検証を行うとともに、新たな地域再生計画について内閣府の認定を受け、第 2 期総合戦略に位置付けた地方創生の取り組みの推進に努めました。</p>
<p>3 広報活動の充実（広報広聴班）</p> <p>常に最新の情報・話題等を提供できるよう関係部署と連携して情報収集を図り、広報紙等の読者の拡大や町公式ツイッター等を活用した情報提供に努めます。</p>	4	<p>行政情報等を関係部署と連携して町民に対して最新の情報提供ができました。</p> <p>また、町公式ツイッター等による情報提供の促進に努めました。</p>

<p>4 広聴活動の充実（広報広聴班）</p> <p>町政に対する提言等を踏まえ、関係部署と連携しながら広聴活動の充実を図り、町民等に対する的確な周知に努めます。</p>	4	<p>法律相談や心配ごと相談など各種相談事業を含めて、広報ニューしすいや町ホームページなどに掲載し、町民に的確な広聴活動の周知を図りました。</p>
<p>5 統計事務の充実（広報広聴班）</p> <p>周期調査は、「就業構造基本調査」、「経済センサスー基礎調査（乙調査）」、「住宅・土地統計調査単位区設定」2調査1準備事務等が行われます。就業構造基本調査は町内指定の3調査区の町民を対象に就業・不就業の実態を明らかにすることを目的に調査が行われます。住宅・土地統計調査単位区設定事務は、令和5年住宅・土地統計調査の事前調査事務となります。2調査1準備事務等において、継続して的確かつ正確な統計結果を得るために、統計調査員の資質向上を図り、併せて統計調査員の人員確保に努めます。</p>	4	<p>就業構造基本調査では、3名の調査員が町内の調査員調査対象世帯（56世帯）に調査票の配布を実施し、約8割の調査票の回答が得られ、県へ調査票等の提出ができたとともに、住宅・土地統計調査単位区設定では、4名の指導員が指導員調査対象調査区（33調査区）の単位区設定図を作成し、遅滞なく県へ調査関係書類を提出することができました。</p> <p>また、調査期間中、調査員が新型コロナウイルス感染症への感染や大きな事故、怪我がなく無事に調査を終えることができました。</p>
<p>6 財政健全化の推進（財政班）</p> <p>財政の健全化を図ることが重要であることから、全体事業を見直しながら、簡素で効率の良い予算執行を指導します。予算編成に当たっては、酒々井町財政健全化計画により、現状を把握しながら歳出の削減と歳入の確保に努め、財政の健全化に努めます。</p>	4	<p>令和3年度決算から算定した財政分析の結果、町の健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率、公営企業資金不足比率）は各比率とも健全レベルにあります。</p> <p>また、予算編成にあたっては、酒々井町財政健全化計画を策定し、引き続き財政の健全化に取り組みました。</p>

<p>7 適正な予算の執行管理（財政班）</p> <p>実施事業に係る財源等を把握し、情報の共有を図るとともにチェック体制の強化を図り、適正な予算の執行管理に努めます。</p>	<p>3</p>	<p>適正な予算の執行管理については、度重なる国庫（県）補助金などの不適正な事務処理の再発防止策として、各種補助金等の執行管理チェック方法の検討をしました。</p>
<p>8 個別施設計画策定の支援（施設総合管理室）</p> <p>町有施設の長寿命化や維持管理・更新コストの縮減・平準化を図ること等を目的とする個別施設計画を各財産管理者が策定するにあたり、技術面を含めた施設の総合管理に関する支援を行います。</p>	<p>4</p>	<p>施設を管理する関係者と協議を行い、第2次酒々井町個別施設計画【建築物編】を策定しました。また、施設の総合管理について技術的支援を行いました。</p> <p>【支援先施設】給食センター、プリミエール酒々井、保健センター、町体育館</p>
<p>9 入札契約制度の見直し（管財班）</p> <p>公共工事の品質の確保や、入札不調への対応を図るため、入札契約制度の改善に取り組みます。</p>	<p>4</p>	<p>一般競争と指名競争を含めた全体の入札件数が令和4年度は、95件で、うち落札件数が92件、落札率が96.84%となり過去5年間の平均95.04%と比較すると1.80%増加しました。また、令和4年度の不調件数が3件、不調率が3.16%となり過去5年間の平均4.96%と比較すると1.80%減少しました。</p> <p>今後も適正な工期（納期）の確保と設計金額の積算を行うことで、入札不調が発生しないような執行に努めてまいります。</p>